

令和5年度(2023年度) 第1回八王子市保健医療計画推進会議	
日時	令和5年(2023年)7月3日(月) 午後7時00分～午後8時30分
場所	八王子保健所401会議室
出席者氏名	委員 (敬称略)
	事務局
欠席者氏名(敬称略)	内田ふじ子、浜本千恵
テーマ	(1)「第3期八王子市保健医療計画」の進捗状況について (2)「第4期八王子市保健医療計画」について (3)「策定スケジュール」について
傍聴人	なし
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1:八王子市保健医療計画推進会議開催要綱 ・資料2:八王子市保健医療計画推進会議委員名簿及び席次第 ・資料3:第3期八王子市保健医療計画 施策体系図 ・資料4:令和4年度取組実績 ・資料5:進捗状況の対比について ・資料6:第4期八王子市保健医療計画に係る基礎資料(意識調査分析結果を含む) ・資料7:第4期八王子市保健医療計画策定スケジュールについて ・参考1:第4期八王子市保健医療計画に係る市民意識調査結果報告書 ・参考2:国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針
議事	
発言者	内容
事務局	<p>ただいまより令和5年度第1回八王子市保健医療計画推進会議を開催いたします。</p> <p>本推進会議は、開催要項のとおり、市における保健医療に関して総合的な見地から意見交換を行う場としております。会議は原則公開で、会議録作成のため録音させていただきますので御了承ください。なお、議事録については、議事録案を作成しまして皆様に内容の確認を行った後、本市のホームページで公開してまいります。議事録における委員につきましては、皆様の個人名は記載せず、委員という形で表記をさせていただきますことよろしいでしょうか。</p> <p>(委員了承)</p> <p>本日の傍聴人はおりません。</p>

事務局	この会議は八王子市保健医療計画推進会議開催要項第5条第2項の規定により、健康医療部長を座長とし、進行いたします。
議事	
(1)「第3期八王子市保健医療計画」の進捗状況について	
発言者	内容
座長	では、議事の(1)第3期八王子市保健医療計画に係る令和4年度の取り組み状況について、事務局から説明をお願いいたします。
事務局	<p>資料3、A4の横書きのものを御覧ください。こちらは第3期八王子市保健医療計画の施策体系図で、基本理念でございます。自分で健康で地域で笑顔あふれる健康なまちづくりを元に、左側には視点の1、いつまでも元気で健康的な生活を送るためにという、主に保健・健康づくりに関する施策。用紙の右側につきましては、視点2ということで、住み慣れた地域で安心して医療を受けられるためにという、主に医療に関する政策を記入してございます。それぞれの基本目標を達成するために、23の施策を位置付けまして、その施策に基づいた事業レベルの取り組みが、全部で231項目ございます。こちら、右下の表を御覧ください。この231項目の取り組みの中で、令和元年度から令和4年度の進捗状況について、SからCという4段階の評価を各所管課が自己評価をしまして、その取り組み個数を評価ごとにカウントしたのになります。令和4年度の取り組み状況につきましては、S評価をしたものが4件、A評価が219件、B評価が8件、C評価が0件となっています。</p> <p>それら231の項目の取り組み実績をお示したものが、資料の5です。A3の両面刷りの資料になります。資料5を御覧ください。こちらにつきましては、231項目の各取り組みについて、1年目ということで、平成30年度から令和元年、令和2年、令和3年、令和4年の取り組み実績と進捗状況の自己評価です。そして、令和5年度の取り組み計画を記したのになっております。オンライン等を活用するなど、コロナ禍に合わせた手法に切り替えながら、事業展開をしたケースが複数見受けられておりますが、やはり事業の特性を感染拡大防止の観点から、事業の中止ですとか縮小を余儀なくされてしまったケースも一部で見受けられております。</p> <p>資料4に戻っていただいて、A4の縦書き両面刷りのものになります。こちらにつきましては、表題の通り令和3年度と令和4年度の取り組み実績の評価を比較して、変動のあったものについて標記させていただいたものとなっています。本日は、前年、令和3年度にB評価をしていた項目で、令和4年度においても引き続きB評価になった部分を中心に、担当所管からヒアリングを行った内容を交えて、取り組み状況等について御説明させていただきたいと考えております。</p> <p>まず通し番号25ということで、こちらが飲酒による健康への影響についての普及啓発に関する取り組みについてです。講演会の代替案として、市内の大学生向けの冊子に、飲酒に関しての啓発記事を掲載しておりましたが、幅広い年代への普及啓発の媒体として想定していた講演会の実施がコロナの関係でできなかったことから、未評価としております。ただ、今年度については、その他街頭キャンペーンによる声掛けの実施ですとか、当然ながら講演会の実施も含めて幅広い年代に普及啓発をしていくというところの聞き取りを行っています。</p> <p>次に、通し番号42、46で、成人検診科の特定健診です。それから特定保健指導の</p>

部分になりますが、こちらについてもコロナでの外出控えが検診率に影響しているものと認識しております。保健指導についてはオンラインによる対応を実施しているところですが、オンラインで実施する方につきましては、やはり一部の方にとどまっているということもあり、検診同様コロナの影響により、対面での保健指導の利用が下がってしまっている状況でございます。

八王子市については、例年26市とか、中核市の平均と比べて受診率や利用率が高いと聞いていますが、国の目標値がやはりかなり高く設定されているため、遅れありとの評価をしております。コロナの影響については、本市だけの問題ではございませんが、検診の受診勧奨ですとか、専門職による保健指導の必要性について伝えながら、引き続き受診率の向上に努めていきたいと考えております。

続いて通し番号101番、福祉政策課の八王子浴場組合の協力による高齢者の引きこもり等解消を兼ねた健康教室の開催に関する取り組みでございます。こちらについては市内の公衆浴場を会場に実施することが全体の事業となっております。そのためWeb開催等という代替案は考えておらず、コロナ禍において目標が果たせず、実施を見送らざるを得なかったため、遅れありという評価になっています。今年度につきましては、市内の公衆浴場と協議の上、実施について検討していくという形で、所管からは聞き取りを行っています。

続きまして、通し番号103番です。学校給食課の親子料理教室等による健康づくり講習会実施に係る取り組みについてですが、こちらについてはオンライン講習を実施できる学校と、そうでない学校があるという中で、全ての学校で対応ができるように、調理をしている動画をタブレットに保存するという手法を令和4年度は選択しております。また、学校での人気メニューのレシピをホームページに公開し、家庭での活用ツールを増やしたというところではございますが、やはり実際に対面で教室形式での実施ができなかったため、代替案としてはいろいろなものを設定はしてはいたのですが、遅れありという評価をしております。今年度につきましては、より多くの学校で料理教室が実施できるように、開催方法についても検討しながら、健康的な食生活を送るための実践力を育てると共に、家庭での食育推進に取り組んでいくというところを聞き取りをしております。

続きまして、通し番号171番の生活衛生課の災害時におけるペットの対応に関する取り組みについてですが、動物の適正飼育講習会ですとか、地域の活動セミナーの際に、会場の受付周辺のスペースでパネルを掲示しながら、ペットの災害対策に関して普及啓発を行っております。ただ、マニュアルの改訂には至っていないというところから、Bの遅れありという評価にしています。今年度につきましては、災害時におけるペットの安全確保等についての啓発を行う他、他の自治体の情報収集にも努めながら、環境省が改訂した人とペットの災害対策ガイドラインにもとづいて、取り組みを進めていくといった聞き取りを行っています。

続いて176です。こちらについても生活衛生課の動物管理施設の整備に向け実施調整しますというところですが、八王子市動物愛護センターの庁内検討会において、意見聴取を行いながら、本市の動物愛護センターのあり方について検討を進めてきた一方で、全ての市有地を検証した結果、現時点では施設整備に適合した用地がないという状況から、Bの遅れありというようにしております。今年度については、動物愛護センターとしての機能を果たしながら、既存の施設の複合化等を含めて、災害対

	<p>策ですとか、返還・譲渡の促進に向けた施設の整備の検討を行っていくというところを聞き取っております。</p> <p>最後、185です。多文化共生推進課の外国人市民が自ら適切な医療機関を選択できるよう、多言語対応可能な医療機関周知に係る取り組みについてですが、こちらについては対応可能なものが限定され、常に最新の状態を維持するためには、その都度報告等の提出が必要になるなど、医療機関の皆様の負担がかなり大きくなります。特にコロナ禍において、これらの対応を医療機関の皆様を求めるということは、不適當ではないかというところの中で、東京都が公開している情報の活用等周知、方向転換をすることとしたというところで、Bの遅れありという評価にしています。今年度についても、既に東京都が医療機関案内サービスひまわりで公開しております多言語対応可能な医療機関の情報を踏まえて、市独自で多言語対応可能な医療機関リストを作成するというにはこだわらず、市のホームページですとか、Facebook、外国人向けの情報誌などを活用して、東京都医療機関案内サービスひまわりの周知に努めるなど、外国人市民が自ら適切な医療機関を選択できる環境を整備していきたいと聞き取りを行っております。令和4年度の実績は以上となります。</p>
座長	<p>事務局から説明がありました。御質問などございましたらお願いいたします。</p> <p>(特になし)</p>
座長	<p>それでは、一旦4期を進めさせていただいて、後で3期全体の評価の成果指標の説明などもありますので、全体を通しての御質問の中でも、3期の評価についても今あった説明を受けたところで御意見をいただければと思います。</p>

(2)「第4期八王子市保健医療計画」について

発言者	内容
座長	<p>では議題(2)第4期八王子市保健医療計画策定について、事務局から説明願います。</p> <p>4期を進めていくのに、皆さんとステップバイステップで共通認識をつくりながら意見交換、意見表明をしていただければと思っております。最初に国の動向や、八王子市の新しい基本計画、未来デザイン2040というものとの関連というところで、一旦御質問があればお受けし、その後本日冊子で配っている市民意識調査から、ポイントとなる特徴的な点を説明します。その段階でまた御質問があればお聞きし、最後に第3期全体を通じた成果指標の結果、から見えてくる本市の課題や、基本的な目標をこういうふうに設定したいという点を御説明させていただいて、最後質問と御意見という形で、少し時間をちょうだいしますが、御協力の程よろしくお願いいたします。事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>正面のスクリーンを御覧下さい。</p> <p>まずスライド1ですが、健康日本21、第3次の基本的な方向性についてでございます。こちらについては令和5年5月31日に、国民の健康の増進の総合的な推進を図</p>

るための基本的な方針の全部を改正する件として、先ほど参考資料として御紹介したのになります。そちらの資料の通り告示されております。前回の推進会議にて御報告させていただいた部分でもございますが、最上位の目標には健康日本21、第2次の時と同様、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を引き継ぎ、個人の行動と健康状態の改善。それから社会環境の質の向上。それにライフコースを加えた四つを基本的な方向とすることが示されております。個人の行動と健康状態の改善においては、生活習慣病の改善や発症予防、重症化予防に引き続き取り組む一方で、ロコモティブシンドローム、痩せにつきましては、生活習慣病だけが原因となるわけではないというところを含めまして、これらを予防することも重要であり、生活習慣病の発症予防、重症化予防だけではなく健康づくりが必要であるという点も合わせた取り組みを推進することとしております。

先ほどの参考資料の後ろになります。国の評価指標についても掲載しています。こちらの項目の中で新たに設定されたものとして、ロコモティブシンドロームの減少、それから骨粗鬆症検診の受診率、あとは睡眠時間が十分に確保できている者の増加という項目が新たに目標設定されているところでございます。

続きまして、社会環境の質の向上という部分においては、まず一つとしては、健康無関心層を含む幅広い世代を対象とした予防・健康づくりの推進のための自然に健康になれる環境づくり。それから二つ目としては、社会とのつながりを維持・向上させていくための居場所づくりや社会参加。それから3点目として、科学的エビデンスに基づいた健康情報を入手・活用できるよう、周知啓発等に取り組むため、誰もがアクセスできる健康増進のための基盤整備を推進することとしております。国の評価指標になります。居心地が良く、歩きたくなる街中づくりに取り組む市町村数の増加というものが、新たに目標設定されております。こちらのまちづくりの観点からの環境の整備に関しては、前回の会議において甲斐先生からも御意見をいただいておりますが、実は第4期八王子市保健医療計画策定に係る庁内連絡会という、庁内の関連諸課の部課長を対象とした会議体がありますが、そちらについては今回の第4期保健医療計画に関しては、その構成所管に都市計画部の関連諸課も加えまして、そのような環境面についての情報共有を図りながら施策展開していくということを今目指しているところです。

続きまして、健康日本21、第2次にはない項目のライフコースにつきましては、こちらは年齢だけではなく地域の特性など、多様な環境を捉えた取り組みを展開することとし、評価指標としては特にライフステージごとに女性ホルモンが劇的に変化するという特性等を踏まえまして、人生の各段階における健康課題の解決を図ることが重要になることから、女性に多い痩せですとか、骨粗鬆症等の健康課題、それから男性とは異なる傾向にある女性の飲酒、及び妊婦に関する目標が新たに設定されております。この他、次世代、お子さんの部分や、高齢者の方についての目標等も設定されておりますが、こちらについては第2期の健康日本21の中でも目標としては設定されていたのになりますので、そちらは引き続き目標としてある中で、女性に関しての項目が新たに設定されたという状況になっております。また市町村の役割については、庁内の関連する部局が連携して、市町村の健康増進計画の策定に努める、それから国や都道府県が設定した目標を勘案しながらも、具体的な目標を設定するように努めるといったことが明示されています。こちらが国の動きを図式化したものにな

<p>座長</p>	<p>っております。</p> <p>続きまして、2枚目のスライドです。こちらが八王子未来デザイン2040との関連になってまいります。八王子未来デザイン2040につきましては、保健医療計画を策定する上では、当然無視ができない本市の最上位の計画になっております。こちら、八王子未来デザイン2040については、今年の4月から新たにスタートをしました未来の八王子の設計図というようなものになっております。計画の全体像ですが、このPowerPointの上の部分、まず基本構想がございまして、基本構想につきましては、本市の市政運営、行政活動の基本となるものになっておりまして、まちづくりの基本理念と都市像です。私たちが目指すべきまちの姿を定めております。人と人、人と自然が響き合い、みんなで幸せを紡ぐまち八王子とありますが、これがまちづくりの基本理念となります。こちらにつきましては、前回の基本計画、八王子ビジョン2022の際に定めたものを引き継ぐ形になっています。</p> <p>続きまして、下段の部分。基本計画のところになります。基本構想に掲げる都市像を実現するために、みんなで目指す2040年の姿や、基本的な施策展開等を示したものになっております。途中ピンクの枠のところ为主要な気になっている部分になります。未来を開く原動力としまして、こちらについてはこれからの地域課題ですとか、社会課題の解決に向けて、本市が多様な主体と一緒に、一丸となってチャレンジをしていくといった決意を表明している部分になっており、地域自治と共創という部分掲げて進めていくということになります。この地域自治と共創という言葉ですが、地域自治につきましては、地域のことを自分たちで考えて、共に行動することでみんなの幸せを実現していこうという言葉になります。共創につきましては、対話と共感から新たな解決策を共につくり出すこととしております。その中で、みんなで目指す2040年の姿の実現に向けて、その手前にあります2030年度までに重点的・分野横断的に取り組む内容を、重点テーマ・取り組み方針として定めております。</p> <p>具体的には未来の主役づくり。未来へのつながりづくり。未来に続く都市づくりの三つを重点テーマとしております。こちらの変革のキーワードとしては、デジタルトランスフォーメーションですとか、カーボンニュートラルも定めております。</p> <p>続きまして、スライドの3番と4番になります。こちらについては、先ほど御説明させていただいた重点テーマ、取り組み方針の一つである未来の主役づくりに関する評価指標となります。八王子の未来を担うのは子どもから高齢者までの一人ひとりの市民になります。一人ひとりがまちの主役となるためには、児童・生徒の知徳体をバランス良く育む教育であったり、あとは年齢を問わず誰もが学べる、社会参加ができる機会、そして健康の維持・増進につながる環境が必要であることから設定された重点テーマになります。このことから第4期八王子保健医療計画の指標の設定に関して、最も影響のある内容になるというところで、このあたりを抜粋しています。少し小さくて見にくいのですが、ここの指標の中にも健康分野だけではなくて、横断的にまちづくりの所管の取り組みのようなものも書かれております。こちらの国の動向ですとか、未来デザイン2040についての御説明は以上となります。</p> <p>ありがとうございます。一旦切らせていただきます。まず国の方で変わってきたことの中のキーワードで、ライフコースという新しい名前が出ていました。以前にライフステージという、ある意味決まったステージへ上がっていくというのが、やはり皆さん</p>
-----------	---

	<p>多様化しているので、ライフコースということで、それぞれの人のそれぞれの生き方です。実はうちの市も「あなたのみちを、あるけるまち。八王子」と言っていますが、やはりそのようなものがキーワードになっています。それから2040の中で本当に持続可能性という時に、健康に関して非常に重点テーマと置いていただいています。しっかり次の世代に渡していけるようにするための健康を進めていく施策ということで、しっかりやっていこうというのが2040の中でうたわれているので、進めていくことになっております。</p>
	<p>委員の中には、2040をつくる時に確か地域づくりといったところに入っている方もいらっしゃるかと思います。テーマの中で地域自治という言葉がありましたが、八王子は広いのでそういったことも進めていこうというのがありました。それから、持続可能性で言うと、誰かに頼るだけではなく、共創でみんなで作って出し出していこうという話を結構されたと聞いています。ここまでで一旦区切りますが、コメントがありましたらいただいてもよろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>理解をして活動をして広めることはやっています。なるべく理解をして、できる範囲でまずは活動をして、みんなに触れてもらうことはやっています。ただ難しいのが、率直に横文字の新しい言葉がかなり多く出てきているので、私の言うことすら分からないという方々があります。そこに階層があるとは思いますが、親しみやすい伝え方というのがあったらよいのではないかと思います。</p>
<p>座長</p>	<p>ありがとうございます。今の御意見は本当にその通りで、特に今回我々がやろうとしている健康づくりは、最後は一人ひとりの人にどのように行動を変容してもらうかだと考えています。日本語で言ってもそこは何か専門っぽく聞こえて、どう健康によい行動をしてもらうか、伝わりやすいものを我々でもつくっていただければと思います。続けて事務局より御説明させていただきます。</p>
<p>事務局</p>	<p>次に、スライドの5についてです。こちらの内容は、資料6の13ページ以降でお示しております市民意識調査の結果から、一部抜粋をしたものになっています。</p> <p>最初がBMIです。体格指数というところですが、BMIが25以上で肥満ということで定義付けられていますが、こちらが増加傾向にあります。逆に20才代の女性ではBMIが18.5で痩せすぎというところが多い状況となっております。前回調査と比べてみますと、BMIが25以上と回答した方の割合が、特に男性が各年代で増加しているような状況でした。特に40才代の男性に関して、その割合が16.5ポイント前回調査と比べると増加しているような状況です。今回、市民意識調査の中で、コロナウイルスの影響による健康の変化といった設問もつくらせていただいています。BMIが25以上の方と、コロナの影響による設問を、回答状況を突合してみたのですが、実は41.4%の人が、体重が増えたことを自覚されています。その他面白いところでは40.8%の方が自宅で食事をする機会が増えたと回答されています。個人的な意見となりますが、結構家でご飯を食べると、自分の食べたいタイミングで好きなだけ好きなものを食べてしまうようなことがありましたので、そういったところも影響していると思っております。</p>

一方で、運動機会が減ったという回答が22.3%にとどまっております。こちらについては、意外な数字だと思いました。ただ、BMIが増えてしまっているところが、働き盛りの世代での数値の悪化が目につきます。なので、特に通勤時、自然に歩いたりする機会が多いと思いますが、そのあたりの運動を運動と捉えてはいないのかなと思っております。なので、新型コロナウイルスの影響によって、在宅勤務等新たな生活様式と言われるような部分になると思いますが、そういったことがあって基礎代謝が低下をして、こういった数値に表れてしまっているのかと考えているところです。

続きまして、スライド6です。栄養・食生活面についてというところですが、こちらについても朝食を食べない人の割合が前回調査から増加してしまっています。朝食を食べない理由として、食べないことが習慣化してしまっているからという回答が最も多かったです。こちらについては、前回の会議の際に峯尾委員から、そもそも朝食の定義、捉え方というのが難しくなっているのではないかということで御発言をいただいていた。市民意識調査の自由記述欄を紐解いていくと、やはり勤務が不規則になっているので、1回目の食事が11時頃になってしまうとか、そもそも1日3食を食べているが、1回目の食事がお昼頃になってしまって、2回目の食事が夕方。3回目の食事が深夜とか、不規則なという言い方が正しいかどうかはありますが、そもそも朝食の定義というところがなかなか難しくなってきたのかなと思います。

あとは、前回の調査と比較すると、前回の調査時における年齢別の朝食摂取状況が、次の年代に移っている感じです。どういうことかという、前回調査の際に30代の方々の朝食の摂取状況というのが、今回40代の方の摂取状況に数値が類似しているということから、このあたりの部分というのが国で言うところのライフコースの今の生活習慣がその次の世代に影響を及ぼすというところの典型的なものになるのかなと見ております。

それからスライドの7、運動習慣についてです。こちらについても、運動習慣のある人の割合というのが、前回調査よりも残念ながら減少しております。特に女性で運動習慣のない人の割合というのが高い状況になっております。女性についてはコロナ禍の影響によって運動する機会が減ったという回答をした方が、特に30代の女性が29.2%ということで最も多く、40代を除く全ての年代で20%以上の方が運動をする機会が減ったという回答をいただいています。なので、こちらについてはコロナ禍における運動習慣の減少という部分が習慣付いている部分があると思うので、そのあたりを改善させていく必要があるのかなと考えております。

それからスライドの8、睡眠・休養というところですが、こちらについては先ほどの国の動向のところでもお話をさせていただいたのですが、健康日本21の第3次では、新たな指標として睡眠時間に関することが追加されています。本市の状況はどうかというと、女性の方が十分に睡眠を取れているという割合が低い状態になっています。特に子育てを担っていると思われる年代等においては、睡眠時間を十分に取得されている方の割合が低いのかなと見ております。睡眠時間に関しては、健康づくりのための睡眠指針2014が厚生労働省から出ていて、その中では必要な睡眠時間は6時間から8時間と記載されています。本市の睡眠の時間をどれぐらい皆さんは直近1か月

	<p>で取っているのかということで、前回の調査と比べると6時間から8時間の睡眠時間が取れていると回答をいただいた方については、50.9%の方が取れていると回答をしていただきました。こちら前回調査と比べると4.3ポイント向上しています。おそらくこちらの理由についても、コロナがよい方に影響していて、在宅勤務という中で時間外勤務といった部分がなく、規則正しい生活をされている方が増えたのかなというところが原因であると見えています。</p> <p>それからスライド9でございしますが、コロナ禍による健康の変化というところで、生活習慣が改善された項目がある一方で、ストレスを感じるものの増加などの健康面が悪化した項目があります。ストレスに関しては、男性よりも女性のストレス、女性の方のストレスを感じるものが多く、特に30代から60代につきましては、それぞれ100名以上の方がストレスを感じるものが増えたと回答をいただいています。こちらについても、コロナ禍によって夫の在宅勤務ということで、生活習慣・生活環境に変化が生じたことによるストレスの増加なのかなと思います。</p> <p>一応こちらは、保健医療計画、前年度に意識調査をした結果の主立った部分ということで、一部抜粋して御紹介をしました。</p> <p>座長 ありがとうございます。コロナのことと、そういった影響を受けて、結構働き盛りの方や、子育て世代の方がそれなりの影響を受けたということが数字的にも出ております。ここで御質問等あればお願いいたします。こちらの冊子に詳しくと言うか、項目に分けたものが載っておりますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(発言なし)</p> <p>座長 では最後の方で、3期の総括的な評価を見て、そのようなものを受けて我々が考える課題や、次の計画の基本的な考え方を最後に御紹介をさせていただいて、それぞれ皆さんから質疑をいただければと思います。事務局より説明をお願いします。</p> <p>事務局 それでは、資料6の11ページ、12ページです。カラー印刷をさせていただいている項目が、現行の第3期八王子市保健医療計画に係る主な成果指標についての進捗状況を捉えたものになっています。</p> <p>スライド10に視点1、基本目標1の生涯を通じた健康づくりの推進に関する内容を抜粋しております。表中、緑字で未達成と標記している九つの指標につきましては、策定時よりも改善傾向にはありますが、残念ながら未達成な状況です。それから、赤字で未達成と標記している七つの指標につきましては、策定時よりも数値が悪化しているものを表しています。こちらは未達成の赤と緑のものを合わせると、16の指標が未達成となっておりますが、こちらの半数以上が検診や健康指導といったところで、対面による取り組みのものが半数以上となっております。新型コロナウイルス感染症の影響による外出の自粛や、検診控えといったものが影響している部分があると認識をしております。</p> <p>その一方で各所管の様々な取り組みがありましたので、その中でこちら、表の中の一番下の部分になりますが、65歳の平均障害期間については、男女ともに目標を</p>
--	--

	<p>達成しているような状況です。こちらについては、東京都や26市の平均よりも短くなっています。ただ、こちらはなかなか手放しで喜べない部分があります。現行に関しての取り組みについては、結果が出るのに数年掛かると言われている部分もあり、新型コロナウイルスの影響によって数字が好転している可能性も考えられることから、今後の動向については注視していく必要があると考えております。</p> <p>また、先ほど令和4年度の各所管の取り組み状況のお話をさせていただいていた中で、やはり各所管としては、それぞれの所管の中で目標を持って、こういった事業に取り組んでいきたいというところで、その目標に関して達成はしているが、その事業の結果が、こちらの指標の方にマッチしてきていないという部分もあります。そのあたりのところに関しては、次の計画のところでもよりその取り組みが結果に反映するような形の目標設定をしていけたらと考えております。</p> <p>第3期保健医療計画に係る主な成果指標の進捗状況の説明は以上となります。</p>
<p>座長</p>	<p>事務局に確認しますが、平均障害期間が短くなっているという意味では、健康寿命の延伸と言えますが、例えばコロナの影響ということで、数字として好転というのが、施設等でクラスターで弱い方が亡くなった結果短くなっているかもしれないとか、バイアスも考えられます。なので、結果が出るには数年掛かるものだから、単純に見てはいけないよ、ということではいのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>おっしゃる通りです。あとは国の方でもやはり同じような結果が出ています。その中で、今の健康寿命が延伸されているという部分に関しては、過去の取り組みが今影響しているという考えの学識の方もいらっしゃる中で、そういった部分も含めて、単純に今この1年で健康寿命が延伸になったからといって、手放しでは喜べないという状況なのかなと見ております。</p>
<p>座長</p>	<p>事務局の説明が終わりました。ここからは御質問だけでなく、皆さんそれぞれの立場で御意見等がありましたら、ぜひいただきたいなと思います。いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>詳細な分析をありがとうございました。大変興味深く拝見しました。基本的に3期の総括は、コロナの影響が乗ってしまっているので、果たして3期の、例えば未達成等もありますが、八王子市が頑張らなかつたから未達成なのかと言われると、コロナの影響の方が正直強いだろうなと思います。全体の傾向として、国際的な動向であったり、肥満が増えたりすることです。運動習慣が思ったより減らないが、歩数がかなり減る等です。あとは国内の動向とほとんど一緒だなと感じています。食事の状況や睡眠が長くというのも国際的な動向です。間食が増えたりして、あとはリズムが狂って肥満が増えることも国内でもたくさん出ているので、丁寧な分析でその通りだなと思いました。なので、未達成が多いからといって、それが八王子市のせいかという私は違うと思いました。</p> <p>何点か質問があったのですが、1点目は、3期はこれでいいと思いますが、4期に向けては、やはり健康日本21との絡みもあり、格差の分析はされないのかなと少し思いました。ライフコースは丁寧にやっていると思いますが、健康寿命の延伸と共に、やはり健康格差を縮小することが大きな目標として掲げられていますので、その点</p>

	<p>を八王子市はどのように今後4期に向かって計画を立てるのか、立てる前には分析が必要とお考えなのでしょうか。KPIとしてもこれぐらい何らかの経済要因、要は社会経済的なものなのか、地域なのか、世代なのか、いろいろな格差があると思いますが、どのあたりの格差にフォーカスを当てて、格差を縮小するお考えがあるのかをうかがいたいというのが1点目です。</p> <p>あとは今後環境をやっていられると思いますが、例えば朝食を食べないというのは、どうしても普及啓発みたいな教育の方に行きがちですが、多分教育されて変わる人は変わっていると思います。もちろん子どもへのポピュレーションは大切ですが、働く世代に向けて、都心の方では企業と協力して朝食を提供するのにサポートをしたりします。まさに自然に啓発ではなくて、自然に健康になれるということ、その環境をどのようにつくっていくのかということもあると思うので、その辺もぜひお願いしたいです。先ほど健康増進に関しては都市計画の部門を入れるということで、非常に素晴らしいとお伺いしながら、食事、禁煙、お酒、心の健康等も実は環境をどう良くしていくのか、啓発ではなく、教育に頼らないことで、時々テーマになる無関心な人々の巻き込みもできると思います。</p> <p>あとは健康経営との絡みも後ほど聞かせていただければと思います。</p>
<p>座長</p>	<p>今、御発言いただいたことを含めてもう1パート、先に御説明させていただきます。ありますので。多分今出していただいた部分の答えはもしかしたら入っているかもしれませんが。本市の課題とその先の基本的な目標の設定について、事務局お願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>先ほどは国の動向や、本市の計画、それから市民意識調査等の状況を踏まえて、現状で課題と捉えているものがどれだけあるのかということになります。こちらはスライドの12にそのあたりものを抜粋しています。こちらについては、お手持ちの資料6の一番最後のページになってきますが、例えば年代や環境の特性に応じた施策の推進が今後必要になってくるのではないのでしょうか。このところについては、朝食の欠食ですとか、野菜の摂取については、当然子どもの頃からの食生活習慣というものが影響していると考えられているところです。その点から行くと、引き続き妊産婦への啓発が必要だと考えております。また併せて日常生活圏、職域であったり、年代別に朝食習慣や望ましい栄養、食事内容等の伝達・啓発といったところを行っていく必要があると思います。場面等に応じた健康づくりや、生活習慣改善を行うことで、切れ目なく、取り残されることがなく施策が浸透して、健康格差の縮小や、個人の健康状態の改善を目指すところが必要だと考えているところです。そのところとして一番上の年代の環境や特性、ライフコースに応じた施策の推進が必要になるのではないかと考えています。</p> <p>次の豊かさや生きがいの実感につながる健康の推進については、ストレスの中で特に高齢男性については、ストレスの解消法がないという回答が多くなっています。このことから、市で実施している心の健康相談等の事業の利用のしやすさの向上や、生きがいの創出、社会参加等に向けた施策というところを検討しながら、体験、つながりづくり、心の健康の観点から健康づくりを行うことで、それぞれが生きがいを感じて、心豊かに暮らせるまちを目指す必要があると考えているところです。</p>

	<p>次に三つ目、多様な連携による健康推進、医療体制の整備というところに関しては、コロナ禍による運動習慣の減少が、逆に定着してしまっている可能性もあることから、長期的な影響等について把握すると共に、地域の資源として、団体や企業、それから医療系の方々の協力・連携によって、アフターコロナに見合った実践につながる効果的な取り組み、事業展開を目指す必要があると考えています。</p> <p>健康推進における都市計画の視点の導入に関しては、市民意識調査の結果から、運動習慣の低さというところが目立っているのと同時に、健康で気になっていることとして、問題意識を皆さんお持ちです。このことから気軽に身近に実践できるような環境整備、緑豊かな歩行環境を活用した健康づくりなどが必要になってくると思います。特に八王子は緑が豊富ですので、そのあたりの資源を活用しながら、取り組みができればよいのかなと思っています。</p> <p>最後、情報の見える化にリテラシー、セルフケア能力の向上については、市民意識調査においては分かりやすい案内を求める声が多かったです。これは、市民が利用しやすく、納得の行く情報発信方法の内容によって、生活習慣病を始めとした疾病の早期発見、重症化予防を目指す必要があると考えているところです。このことから、スライド13にお示しをした基本目標、一つが、ライフステージや環境の特性、ライフコースに合わせた健康づくりの推進です。こちらでは地域保健のうち、健康日本21の評価指標をベースとした施策への取り組みを目指していきたいと思っています。</p> <p>基本目標の2として、安全で健康的な生活を安心して送れる健康づくりの推進に関しては、地域保健のうち、今お話をさせていただいた健康日本21の評価指標をベースとしたもの以外の部分を取り組んでいければと思います。</p> <p>続きまして、視点2の分野として、日常の医療体制の整備、それから緊急時の医療体制の整備、在宅療養体制の整備といったものを基本目標としまして、今後計画の体系等を整理しながら、目標設定をしていきたいと考えております。</p>
座長	<p>ありがとうございます。もし事務局が答えられるならば、委員の御質問にお答えする形で議事を進めたいと思いますのでお願いします。</p>
事務局	<p>4期に向けての健康格差の分析に関してですが、市民意識調査の中で居住地域や所得状況も伺っておりますので、地区ごとや所得状況に応じた分析は可能だと思っています。状況を見ながら、反映できるところは反映できればよいかなと考えています。</p> <p>それから、職域の部分については、国や東京都も指標として入れていますので、取り組みとしては今後進めていかないといけない分野にはなってくるのかなとは認識しています。</p> <p>実は昨年、東京都の取り組みを利用した事業所に対して、実際にその後の状況を訪問し伺うなど、そういった準備に向けて動いている部分もありますが、他の事業との兼ね合いもありますので、そのあたりを含めて計画の中にどう反映させていくのかというところは、今後検討できればと考えております。よろしいでしょうか。</p>
座長	<p>他に御質問・御意見等ありましたらお願いします。</p>

<p>委員</p>	<p>スポーツジムのことですが、健康に関することだと思うのでお話をしたいと思います。体力を維持するために私の夫の話ですが、もう24年にわたってスポーツジムに行っております。3日に1度の筋力トレーニング、それから毎日8,000歩を目標に歩いています。ご近所のご夫妻も70歳を過ぎていますが、2日に1度ジムに通っています。2人とも揃ってとても元気です。狭間にありますエスフォルタのスポーツジムは、八王子市の助成があり、他のところと比べて安くて使いやすくなっています。うれしいことだと思ってありがたいと感謝しております。健康のために続けているとは言いますが、努力なしではできません。24年も続けているのは馬鹿みたいと思うぐらいなのですが、頑張っている人に何か御褒美が欲しいと思います。家族からはいつも感謝は言っていますが、公の方からも励ましの言葉でも掛けていただければうれしいなと思います。</p> <p>それからもう一つ、ここでお話をするのは違うのかなとは思いますが、LGBTQのことです。多くの皆様が興味のあることだと思います。法案が施行されて間もないですが、政策は各自治体に一任と言われております。児童に対する教育はどうなるのか。それから女性・子どもにとってとても心配な公共のトイレの問題です。それから、入浴もそうです。新宿の歌舞伎町あたりでは、警備員を置かなければ入れないようなトイレができ上がっています。八王子ではどのような政策を進めていくのかお尋ねしたいと思います。ここで答えられる問題ではないかなとも思いますが、よろしく願いいたします。</p>
<p>座長</p>	<p>最初のジムのお話ですね。私も毎日行っている人間です。八王子市には「てくポ」というアプリがあります。てくてく歩くとポイントがたまるといふものです。これは地区のボランティア活動、自治会への参加、それから、我々は保健福祉センターの体操教室等に参加したり、御自身が入ったりするとポイントがたまって、今だとPayPayに替えられます。これが持続可能な社会という中で、今、そういうことをやったら健康によい影響があるから、ポイントを市の税金でとか、今回のポイントについては企業の広告から還元して出しています。まだデータとして皆さんに言うところまではまとまっています。例えば「てくポ」は60歳以上の方が登録できますが、登録している方の医療費と全体の医療費を比べると、当然ながら運動している方の医療費なので、傾向として入院医療費が極端に少ないわけです。とはいえ、そういう活動をしている方としていない方では、やはり大きく差があるのが目に見えて分かります。例えばそういった健康寿命の延伸が先ほどありましたが、そこが短くなったものが、効果として一部を運動している方自身にお返しできるような仕組みとして、この「てくポ」が回るようになれば、これはみんなでよいことをやったら、自分も褒められるし、健康になるし、まちも元気になるので、方向性としてはそういうものを、福祉も一緒になって、今は効果検証も含めてやっていきたいということです。ストレートに御褒美と言うとあれですが、そんなことも実証実験を越えて進めています。</p> <p>あとはLGBTQの件については、ちょうどこの前回の議会でかなり御審議をいただいて、今男女が共に生きるまち。男女共同参画条例という形で、そこでも今また男女という言い方自身もどうなのだということが議会で審議がありました。今実際にそういったことがあった時に、条例では意見の申立ができますので、この間第1回目がありました。よい悪いは別にして、八王子市が今回の市議会議員選挙で使った、「は</p>

	<p>ちぶり」というアイドルグループのポスターです。それは具体的に若い世代への投票率を上げたいので、同じ世代の八王子の御当地アイドルが活動している様子をポスターにしてみんなで投票に行きましょうみたいなことを出して、実際に若い世代の投票率は今回結構上がっています。それが本当に女性を表に出して、若い世代のシンボルでやって、どうだったのかという評価が実際に申立として出ました。ですが、きちんと公平・公正に第三者で審議するために、この間第1回があった中で、そこはいずれにしても差別みたいなことには当たらないということで、あくまでそういう人たちにしっかり参画してもらおう機能だという判断がそこではありました。取り組みの具体例になりましたが、八王子では今ちょうどそういうことを含めて、しっかりと公正・公平にやっというところが始まったところです。</p> <p>やはり健康づくりにつなげていくためにも、そういった単に男女という区別だけではなく、進めなければいけないことがだいぶ出てくると思っています。その意味では八王子の取り組みは今はそのように進んでいます。</p> <p>他に御意見・御質問などありましたらお願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>全ての指標に関して、コロナの影響がこの3年間大なり小なりあったと思います。それぞれのインパクトの大きさに関しては全然バラバラです。しかもこれが例えばどの程度の時間続くのか、影響が続くのか、あるいは逆に、今すぐ出ていなくて、実は長いスパン、時間が経ってから影響が出るようなものもあると思います。例えば僕は校医をしていますが、明らかに小学生の肥満は運動量が減ったので増えたと思います。ただ、ここでコロナが明けて、子どもたちが普通の運動量に戻っていけば、多分すぐに修正されていくでしょうし、逆にこれまでの3年間の生活習慣が根付いてしまうと、肥満のまま大人になって、実際にそれによる影響は下手すると何十年後に出るかもしれません。そういう意味では、その辺も含めて見ていくためには、やはり長いスパンで今後フォローをしていく必要があるのだと思います。</p> <p>あと、数値目標は、ほとんど国の指針に基づいて設定している感じですか。市の独自のものですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>国のものをベースとしているものもありますし、市独自のものもあります。あとは東京都の状況とかもありますので、そのあたりの目標値を使ったりということがあります。</p>
<p>委員</p>	<p>比較的近い実現可能なレベルのものから、それは理想ですよ、というものまで結構ばらつきがあると思います。例えば、検診の受診率が未達成となってしまいますが、やはり働く世代が特定健診で40歳から65歳未満なので、その働いている世代の人たちが、かなり八王子市は受診勧奨を一生懸命やっていることを知っているのでも、それでもこれを達成するのはなかなか難しいのではないかとこのところは思ったりします。だから、実際に市の取り組みが悪いとか、未達成だから悪いという話ではないと思います。その意味では、達成・未達成という部分だけにとらわれることなく、前年度比で着実に向上していれば、それで順調と捉えてもよいのではないかと考えています。</p>

座長	<p>ありがとうございます。今回の赤と緑の未達成を区別した意図をよく理解していただきました。やはり国の目標は結構高めになっているものもあるので、そこも考えていただきたいと思っています。他に御意見等ありましたらお願いします。</p>
委員	<p>単純な質問ですが、アンケートの107ページ、かかりつけ医の有無について、平成28年度調査と令和4年度調査と比べています。これらは年度としてはコロナ前と、あるいはある程度コロナを経験した後と見てもよいものではないかと思うのですが。それでコロナの中でかかりつけ医を持つことの重要性はかなり言われていたと思います。そういった中で、図からコロナ前とコロナ後で見ると、平成28年度にはかかりつけ医を決めているという人は21.1%。令和4年度ではそれが28.5%ということになり上がっていると思います。この辺どう評価をしているのですか。</p>
事務局	<p>委員がおっしゃった通りだと考えております。かかりつけ医を決めていないが33.3から31.4に減少し、「どこか不調なとき、まず受診をするかかりつけ医を決めている」という割合が増加したということが全体の傾向で、今回の調査の特徴なのではないかと思っています。</p>
座長	<p>ここは単純によい傾向だと捉えてよいのではないかと思います。他に御質問・御意見等いかがでしょうか。</p>
委員	<p>やはり皆様がおっしゃっている通り、この計画、第3期に関してはコロナの3年間、もともとこんなに続くと思っていなかったのも、その間にアンケートを採って分析して、逆に言えば細かい分析故にこういう結果になったというのは、その通りだと思います。先ほど、運動する機会が少なくなったということでしたが、これも結構30代の女性は皆さん個人で運動するより団体に運動する方が楽と言うか、多いのではないかと思います。ただ、歩くと言うよりも、野球だったりサッカーだったり、学校のスポーツだったり、1人でやるよりもみんなでやるということで、地域もそうです。多かったのがそういう機会が一切なくなっていたので、これが5類になって、本当に解除されたということで、私も周りを見ているのですが、歩く人がすごく増えてきました。野球やサッカーなども普通に子どもたちができるようになったので、このことに関して先ほど先生がおっしゃっていましたが、結局コロナ禍でやらなくなったから、それがそのまま続くのは怖いですが、多分これは戻るのではないかなと思います。そういう教育をしていくでしょうから、これはあまり心配していません。</p> <p>逆に基本目標の安全で健康的な生活を安心して送れる環境づくりの推進というのが目標にありますが、これは多分地域を巻き込むということは、例えば警察だったり、そういうものと一緒に連携していかないと、安全で健康的な生活を安心して送れるというのは、例えば歩く時に、安心して歩けるかどうか分からないような場所を歩いていくことは難しいです。質問ですが、他の行政との連携というのはあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>先ほど2040の部分でも、共創という形でのお話をさせていただきましたが、市と</p>

	<p>しても単独でやるのではなくて、民間企業の協力や、あとは他の行政機関の協力、それぞれ得意分野がありますので、そのあたりを補いながら事業展開をしていくというのがそもそも市としての考え方としてあると思います。そういったところについては、いろいろな視点から対応ができればよいのかなと考えています。</p>
座長	<p>先程の2040で説明した地域づくりとかと要は矛盾しないものです。健康づくりのためにもなるし、地域づくりのためにもなるし、そういう地域をみんなで作っていきましょうということを矛盾なくやっていくことだと思います。大切な御指摘だと思います。</p>
	<p>他にいかがでしょうか。</p>
委員	<p>先日教育長とお話をしていたのですが、小学校の朝の時間で、登校前におにぎりをつくってあげるということで、地域の方々が朝ご飯を食べてこなかった子どもたちに食べさせてあげるということをやっているそうです。教育行政としてやってくださいとは言えないものの、非常に効果があるということでした。そうやって官民協働で子どもたちの教育を伸ばしていきたいという話をされていました。その話を学校に持っていくと、「私たちは教育者であって、福祉はちょっと」と言われます。それぞれの立場があるとは思いますが、例えば子ども食堂もこういったデータの中に件数が多くなったとか、あるところが減ったとかは、私も勉強不足で見えてきませんが、その辺の子どもたちの食生活を地域が支援する、サポートするようなことというのは、数値に表せることはあるのでしょうか。子どもの頃から私は朝ご飯を食べないと学校に行けないというしつけを受けました。昭和13年生まれの子からしたらふぎけるなど。食べられるだけありがたいだろうという考え方で育てられたので、この時期にご飯を食べるのだ、何があっても食べさせてもらえるのだという環境づくりが大事だと思うわけです。その辺の数字が取れるのか、何かできることがあるのかというのがうかがえればと思いました。</p>
事務局	<p>保健医療計画に関しては、前回の会議の時もお話をしていたと思いますが、理念的な部分を表したものになります。食育推進計画など別途個別計画もあります。ただ、その中で委員がおっしゃったようなデータが取れるかどうかというところは、勉強不足で申し訳ないのですが、分かりかねる部分でございます。子ども食堂といったところは新聞等でも取り沙汰されているところですので、今後そのあたりのところは時代に合ったかたちのものがデータとして取れるような仕組みが必要になってくるころではあります。現状においては、そちらについて明確なお答えができません。</p>
委員	<p>データとかそういうことではありませんが、明らかに昨年、一昨年ぐらいから、子ども食堂のチラシが毎月入ってきます。要はそういうことをやっているのだということは、少なくとも教員、それからそういうのが必要な生徒については、どんどん紹介してくれという話はしています。ですから子ども食堂の件、あともう一つは不登校の子どもが給食センターに行けばお昼が食べられるということをやっていると思います。ところが、学校の別室登校はできるというレベルのお子さんが、1人で元八王子給食センターに行けるかという、なかなか難しいと思いますが、昨年の実績として1人行</p>

<p>座長</p>	<p>くようになり、そこのセンターの調理員の方に優しくしてもらい、そこに通って、そして卒業後もアルバイトではないのですが、奉仕活動で来てくれている子どもがいるという紹介がこの間ありました。ああ、なるほどということが感じられているレベルです。</p> <p>それから運動のことが先ほど少し出ていましたが、八王子の中学校については、部活動を止めませんでした。他の市はコロナの時に部活動を停止したのですが、八王子はとにかく練習をしてもよいことにしました。その次の段階では、八王子市内だったら練習試合をやってもよいということで、止めなかったの、八王子はやっているの？ と言われた時期があります。初期の頃です。今はだんだん普通に戻りつつありますが、このあたりのことも子どもたちの体力がどこまで落ちないで済んだかということに関係するかもしれないです。</p> <p>ありがとうございました。間違いなく子ども食堂はかなり多様な動きです。この間もクローズアップ現代で子ども食堂のことをやっていました。</p> <p>それから、委員に御紹介をいただいた給食センターでお昼を食べられるというのも、そこがそろそろどこかで数字に出ていると思うので、子どもの生活実態調査や、あとは今回も食育計画はこの計画の下で個別計画であるので、そのデータを出せればと思います。それから福祉の方や、子育ての方の子どもの困窮度、その調査もあるの、そういったものを複合的に見て、目指すものでこれをやろうとしたら、これとこれは同じみたいな組み合わせは結構今回の中には含まれているので、そういう整合を取りながらやれば、こちらにもあちらにも役に立つみたいなのがあるのではないかと思います。</p>
<p>(3)「策定スケジュール」について</p>	
<p>発言者</p>	<p>内容</p>
<p>座長</p> <p>事務局</p> <p>座長</p>	<p>では、事務局、スケジュールについてお願いします。</p> <p>資料7を御覧ください。こちらについては八王子市保健医療計画の策定スケジュールとなっています。他の関連計画、がん対策推進計画や、データ活用計画、自殺対策計画につきましても、今年度策定年度となりますので、関連計画の中で足並みを揃えながら、今後策定の方を行っていきたいと考えております。</p> <p>保健医療計画については、本日7月3日に推進会議の1回目を開かせていただきまして、この後今月末に庁内連絡会を開かせていただき、8月の中旬から下旬で推進会議をもう一度開かせていただき、10月の推進会議で計画のおおよその部分が確定したような形で、皆様にご提示させていただきながら、最終的に御意見をちょうだいできればと考えております。</p> <p>御質問等ございますでしょうか。</p> <p>(特になし)</p>

座長	<p>そうしましたら、本日は特に御意見をちょうだいできなかった方も含めて、またこの資料を見て何かあった場合には、事務局に御意見をいただければ、皆様の御意見を反映させながら、事務局としての案を作成していきたいと思えます。本日は他の計画とのバランスというか、一緒に向いてやっていくものをだいで示させていただいて、八王子の基本計画などを見ながら進めていくことがすごく大事だというのがよく分かりました。我々もその辺は念頭に置いて進めていきたいと思えます。</p>
----	---